



2024年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月12日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2023年12月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	34,260	13.7	677	66.4	811	66.2	291	153.9
2023年1月期第3四半期	30,126	23.8	2,016	15.3	2,399	0.5	540	66.3

(注)包括利益 2024年1月期第3四半期 213百万円 (73.7%) 2023年1月期第3四半期 811百万円 (56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	8.02	
2023年1月期第3四半期	14.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	25,879	15,499	59.9
2023年1月期	27,459	17,693	64.4

(参考)自己資本 2024年1月期第3四半期 15,492百万円 2023年1月期 17,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期		0.00		15.00	15.00
2024年1月期(予想)				16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,217	15.7	644	76.4	788	70.7	514	164.8	14.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年1月期3Q	38,156,000 株	2023年1月期	38,156,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年1月期3Q	2,795,730 株	2023年1月期	829,830 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年1月期3Q	36,295,568 株	2023年1月期3Q	37,571,042 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するも、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェア第三者検証、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当第3四半期連結累計期間においては、当社では、メタバース関連サービスを提供する子会社として、5月に株式会社ADDOORを設立いたしました。ポールトゥウィン株式会社では、顧客ニーズへの対応力向上、従業員の働く環境整備のため、3月に東京都内6センターを集約して秋葉原センターを開設し、株式会社MIRAIt Service Design及び株式会社Ninjastarsも同センターへ入居いたしました。8月に大分センター（リモートワーク中心拠点）を開設、9月に博多センターの移転開設、10月に仙台市内2センターを集約して仙台センターを開設いたしました。PTWジャパン株式会社では、顧客へのサービス力向上、経営資源の集約と効率化のため、7月に株式会社デルファイサウンドを吸収合併いたしました。PTW Canada Solutions, Inc. では、音声収録事業の強化、相互送客を目的として、10月にゲーム開発企業向けのミュージックデザインやサウンドデザインを行うVibe Avenue Inc.（カナダ現地法人）を子会社化いたしました。株式会社CREST、株式会社SANETTY Produce及び株式会社キュービストは、メディア・コンテンツ業務のシナジー向上、経営資源集約のため、2月に株式会社CRESTを存続会社として吸収合併し、株式会社HIKEへ商号変更いたしました。各子会社において、積極的な人材採用・育成、事業拠点の新設・拡大を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,260,277千円（前年同期比13.7%増）、営業利益は677,444千円（同66.4%減）、経常利益は811,705千円（同66.2%減）、特別損失として投資有価証券評価損177,137千円、減損損失（のれん）316,677千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は△291,164千円（前年同期は540,208千円の利益）となりました。

業務の種類ごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内ソリューション

当業務では、国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェア第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けサービスでは、主にデータアノテーション（タグ付け）やQRコード決済に関する業務が拡大いたしました。また、人材定着のためのスタッフの正社員化・雇用化、受注拡大に備えた人材採用、拠点統合整備、ITシステム刷新を進めております。この結果、国内ソリューションの売上高は19,690,420千円（前年同期比3.2%増）となりました。

② 海外ソリューション

当業務では、在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。円安も寄与し売上が増加いたしました。また、事業拡大のための幹部人材、営業人材、開発人材の採用、さまざまな地域でスタッフを確保するために現地法人設立を推進しております。この結果、海外ソリューションの売上高は9,994,434千円（前年同期比9.4%増）となりました。

③ メディア・コンテンツ

当業務では、主に国内子会社において、「IP360° 展開」を主軸にアニメ制作、ゲームパブリッシング、グラフィック開発、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。第1四半期連結累計期間より、株式会社アクアプラスの業績が連結され、アプリゲーム「うたわれるもの ロストフラグ」等の売上が寄与しております。ゲーム開発については、他社との共同開発にも取り組んでおり、出資した制作委員会からのレベニューシェアがありました。また、株式会社HIKEでは、アニメ制作の受注を推進するとともに、制作能力拡大のためのスタジオ開設、人材採用・育成投資を進めております。この結果、メディア・コンテンツの売上高は4,575,422千円（前年同期比139.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,425,433千円(12.0%)減少し、17,818,906千円となりました。これは、主に仕掛品が414,969千円、その他(未収入金等)が574,257千円増加したものの、現金及び預金が3,484,171千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて845,085千円(11.7%)増加し、8,060,461千円となりました。これは、主にのれんが540,894千円減少したものの、建物及び構築物が487,231千円、工具、器具及び備品が254,458千円、ソフトウェアが465,739千円、敷金及び保証金が198,802千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,580,348千円(5.8%)減少し、25,879,368千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて666,172千円(7.7%)増加し、9,330,348千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が265,905千円、未払金が179,210千円減少したものの、短期借入金が500,000千円、その他(前受金等)が496,193千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて52,396千円(4.8%)減少し、1,049,993千円となりました。これは、主に繰延税金負債が38,570千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて613,775千円(6.3%)増加し、10,380,342千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,194,124千円(12.4%)減少し、15,499,025千円となりました。

これは、主に為替換算調整勘定が536,147千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により利益剰余金が851,056千円減少し、自己株式が1,849,010千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、売上高については海外ソリューションの新規事業収益化遅れ、メディア・コンテンツの一部ゲーム開発出資レベニューシェアの収益計画下振れ、利益については国内ソリューションでの物価高による拠点統合整備費用の予算超過、海外ソリューションでの新規事業の収益化遅れ、メディア・コンテンツの一部案件の収益計画下振れにより、売上高、利益の減少が見込まれ、本日(2023年12月12日)公表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の据え置きに関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想について修正しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,192,774	7,708,602
受取手形、売掛金及び契約資産	6,349,366	6,430,606
商品及び製品	6,512	15,740
仕掛品	491,287	906,256
その他	2,217,903	2,792,160
貸倒引当金	△13,503	△34,460
流動資産合計	20,244,340	17,818,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,582,031	2,125,675
減価償却累計額	△751,146	△807,558
建物及び構築物（純額）	830,884	1,318,116
機械装置及び運搬具	46,395	54,739
減価償却累計額	△26,378	△28,643
機械装置及び運搬具（純額）	20,017	26,096
工具、器具及び備品	2,538,126	3,205,191
減価償却累計額	△1,934,342	△2,346,948
工具、器具及び備品（純額）	603,784	858,243
その他	92,830	95,847
有形固定資産合計	1,547,517	2,298,303
無形固定資産		
のれん	1,462,357	921,462
ソフトウェア	572,552	1,038,292
無形資産	833,000	759,500
その他	3,997	3,997
無形固定資産合計	2,871,908	2,723,253
投資その他の資産		
投資有価証券	1,053,327	1,067,113
敷金及び保証金	1,025,012	1,223,814
繰延税金資産	418,638	475,843
その他	373,689	352,022
貸倒引当金	△74,717	△79,888
投資その他の資産合計	2,795,950	3,038,904
固定資産合計	7,215,376	8,060,461
資産合計	27,459,716	25,879,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	3,005,970	3,505,970
1年内返済予定の長期借入金	390,688	124,783
未払金	3,241,322	3,062,111
未払費用	508,693	560,505
未払法人税等	408,218	425,219
賞与引当金	31,019	77,300
その他	1,078,264	1,574,458
流動負債合計	8,664,176	9,330,348
固定負債		
長期借入金	475,453	443,457
退職給付に係る負債	136,291	145,797
繰延税金負債	329,159	290,588
その他	161,486	170,150
固定負債合計	1,102,390	1,049,993
負債合計	9,766,566	10,380,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,380,082	2,381,156
利益剰余金	14,409,137	13,558,080
自己株式	△703,249	△2,552,259
株主資本合計	17,325,035	14,626,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,777	△24,873
為替換算調整勘定	354,866	891,014
その他の包括利益累計額合計	358,643	866,140
非支配株主持分	9,470	6,844
純資産合計	17,693,150	15,499,025
負債純資産合計	27,459,716	25,879,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上高	30,126,523	34,260,277
売上原価	21,808,825	26,111,751
売上総利益	8,317,698	8,148,526
販売費及び一般管理費	6,301,156	7,471,081
営業利益	2,016,541	677,444
営業外収益		
為替差益	331,486	126,688
助成金収入	96,291	47,352
その他	21,575	22,674
営業外収益合計	449,352	196,715
営業外費用		
支払利息	2,583	9,201
投資有価証券運用損	2,729	11,002
持分法による投資損失	47,389	—
貸倒引当金繰入額	—	20,000
自己株式取得費用	3,663	4,955
その他	10,419	17,294
営業外費用合計	66,785	62,454
経常利益	2,399,109	811,705
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27,429
特別利益合計	—	27,429
特別損失		
固定資産除却損	13,059	2,713
投資有価証券評価損	—	177,137
減損損失	665,220	316,677
特別損失合計	678,280	496,528
税金等調整前四半期純利益	1,720,829	342,606
法人税等	1,176,514	636,396
四半期純利益又は四半期純損失(△)	544,315	△293,790
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,106	△2,626
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	540,208	△291,164

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	544,315	△293,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,500	△28,651
為替換算調整勘定	269,005	536,147
持分法適用会社に対する持分相当額	6,830	—
その他の包括利益合計	267,335	507,496
四半期包括利益	811,650	213,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807,770	216,331
非支配株主に係る四半期包括利益	3,880	△2,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月9日開催の取締役会決議及び2023年6月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,981,900株の取得を行いました。また、当社は、2023年5月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式16,000株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,849,010千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,552,259千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。